

令和7年度に向けた改善方策

【1】 学校の重点目標について

子どもが主体的に取り組むには、問題解決の学習が不可欠である。令和7年度は、地域とより連携し協働の喜びを味わえる「キャリア・未来デザイン教育」を柱に、教育DXを推進し教師の授業力を高め、児童の自己肯定感を育み、友達のよさを見付けて伝えていく多様性を認め合える教育活動さらに進める。また働き方改革を推進し、教師が専門性を高める時間や余裕をもって業務に取り組む時間を確保していく。

以上のことから、以下の3つの重点目標を設定する。

○主体的に考え、課題解決に努める子

- ・自分自身でしっかりと目的や目標を設定し、それを解決するために解決方法を考えたり、行動したりすることができる力を育成する。また、様々な環境の変化や社会情勢の変化に対して、課題解決に努め継続していける力を育成する。

○粘り強く最後までやり遂げる子

- ・自ら考えたことや目標を最後までやり遂げるために、様々な経験や知識を用いたり挑戦する気持ちを持ち続けたりしながら、最善を尽くして粘り強くやり抜こうとしたりする力を育成する。

○健康な心や体を自らつくろうとする子

- ・自ら進んであいさつをし、外遊びを実施することで健康な心と体を自らつくろうとする力を育成する。

【2】 重点目標別の改善計画

重点目標1 主体的に考え、課題解決に努める子

「私は授業中に自分の考えを書いたり、友達に伝えたりすることで考えが深まった」

○これからもタブレット端末を積極的に使用しながら、ロイロノートでお互いの考えを交流する場を設定した学習形態を継承していきます。また、友達の考えを知ることで、さらに自分の考えを深めることができる授業づくりをしていきます。

「自分自身の将来の夢について考える授業や活動に取り組めた」

○学期の目標などの短期目標などは、達成するための具体的な取り組みと数値を設定させ、振り返りで自己分析をさせていきます。

○キャリアパスポート作成の意義や、それが自己実現へと結びついていくことを今後も指導を継続していきます。

重点目標2 粘り強く最後までやり遂げる子

「私は係や当番など、自分の役割に責任をもって活動している」

○今後も引き続き係や当番など役割を果たしたときの達成感を味わわせていきます。また、自分のためだけでなく、友達やクラスのために諦めずに活動できる児童を育成します。

「私は学校や普段の生活で、目標をもち、その実現に向けて努力している」

○生活目標の見直しを行います。目標に対して、「あなたは何をしますか」と、主体的な努力目標を考えさせて行動できるように指導をしていきます。

○自から課題を設定してその解決に向けて取り組めるような授業構成を行って参ります。また、目標や課題を達成できたときの喜びを味わえるような経験ができるような体験型学習を意図的に年間指導計画に盛り込んで参ります。

重点目標 3 豊かで健康な心や体を自らつくろうとする子

「私は緑のレンジャーさんや地域でお世話になっている方々にもあいさつをしている」

「本校の子ども達は、あいさつができると思う」

○前年度、児童と地域の数値のずれを課題とされていた。令和6年度は、全学年が登校時に昇降口でのあいさつを担当する取り組みが行われるなど、あいさつに対する指導を強化したことが、地域の方々にも評価されつつあるものと思われた。来年度も、引き続き「あいさつ運動」やあいさつ指導の強化を図りたい。

「私は運動することが以前と比べて好きになったり、できるようになったりしたと思う」

○中町ランドウイーク、体育町会等の児童が主体的に活動を行ったり、体育の授業を中心に、中休み、昼休みは校庭遊びを推奨してきました。健康的な体づくりは今年度も引き続き行っています。

「私は読書が好きである」

○図書委員会の読書月間活動やPTAサークルによる読み聞かせ活動を継続して行っています。また、貸し出し冊数を1冊から2冊までと増やして参ります。